

平成 30 年 5 月 平和台図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 30 年 5 月 25 日（金） 16 時 20 分から 17 時 00 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 平和台図書館指定管理者（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）（以下「平」） 平和台図書館長、同館業務従事者（3）、本社スタッフ</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）今年度は施設修繕等の予定はあるか。 →（平）2 階の空調設備の基盤の交換が必要であることが点検で指摘されたため、先日区へ協議を出したところである。日程が決まり次第修繕を開始することになっている。その他に、3 階フロア点検口に入れない作りになっている件については昨年度も報告をしているが、建物が当初からそういった造りになっており、現状のままだと点検ができないため困っている。</p> <p>（光）北町受窓ができて 8 か月が経過したが、平和台図書館での影響は。 →（平）あまり大きな変化は感じられないが、予約棚の空きが増えたように思う。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>（光）今年度の職員体制について →（平）昨年度から変わったところは、館長の変更のみ。職員については、職層の変更はあったが総人数の変化はない。</p> <p>（光）今年度の職員研修について →（平）今年初めてアニメーション研修を行う予定である。よみきかせに役に立つ研修とのことで、学校支援員からの勧めもあり受講を予定している。その他、本の修理研修など、昨年計画していたが未実施だったものについては今年行っていく。</p> <p>③ 事業計画について</p> <p>（光）「風呂敷講座」について →（平）職員や利用者からの声をうけ、今年度初めて計画に入れた事業である。環境を考えたエコバックとしての利用や防災時にも使える利用方法などをお伝えしたいと考えている。講師は未定だが、出前講座を利用する予定でいる。</p> <p>（光）「成人向け健康講座」について、日程の調整等は進んでいるか。 →（平）計画書では日時未定としていたが、現在は日程調整できている。昨年度と同じ内科医の先生に講師を依頼している。内容は、囲碁を通して認知症の予防をして健康的な生活を送るといったテーマで行う予定である。</p> <p>（光）4 月に実施した「バリアフリー映画会」について、協力のあった NPO は区内の団体か、またどのようなつながりで協力をしていただいたのか。 →（平）区内の団体ではないが、以前に同法人内の他事業（障害者の福祉事業）でつなが</p>

りのあった団体である。当日の手話通訳をお願いした。

(光) ミニ展示等も合わせると展示の種類が多いが、毎回どのように決めているのか。

→ (平) 展示の担当がおり、担当間で話し合っ時事を反映させた展示を随時行っている。例えば、亡くなった作者の追悼展をおこなうなど、短期間で展示の内容を変えているため、真新しいものが多く来館者の目を引いていると思う。また、場所も目につきやすい場所にするなど工夫をしている。

#### ④ 児童サービス事業について

(光) 「らくごであそぼう！こどもへいわだいよせ」について

→ (平) 前年度も行っていた事業であるが今年は例年とやり方を変え、聞いてもらうだけではない参加型の落語に変えた。参加した子供達には、そばを食べるしぐさや戸を叩くしぐさなどを実際に真似しながら落語に親しんでもらうことができた。また、読書活動支援として、日大の落語研究会の方が子供の時に好きだった本を紹介してもらい、その本を展示して貸し出しにもつなげた。参加者数は伸び悩んだが、子供たちは実際に落語のしぐさをやってみるということを楽しんでいるようで、身を乗り出して話を聞いている姿も見られた。

(光) 6月に実施予定の「宇宙のはなしをきいてみよう！」について、JAXAの方に来ていただくのは初めてか。

→ (平) 今年度初めての試みである。聴覚障害のある職員の方に来ていただき、講話をしていただく。また、宇宙ステーションで使われているロボットアームの簡単な工作も行う。手話でコミュニケーションをとる方のため、手話通訳者の方にも来ていただき、子供が手話にも慣れ親しんでいただけるように考えている。

(光) 「高校生ビジネスプラン・グランプリ」関連事業について

→ (平) 高校生が考えたビジネスプランをプレゼンテーションするというもの。複数人のグループやクラス単位で参加することもでき、全国的に広がりを見せているという。昨年度はココネリで受賞高校がプレゼンテーションを再現したと聞いている。事業の内容としては、グランプリ出場に向けた練習の場の提供、発表のテクニックや応募方法等をお教えし、参加の後押しができたかと考えている。また、2020年からの学習指導要領の変更に伴うアクティブラーニングの導入を見据え、自らがプランニングして発表するというプロセスを実際に経験してもらいたいと考えている。

(光) 学校支援について

→ (平) 学校総括支援員が今年度から新たに就任したため、挨拶を兼ねた学校訪問を行った。5月の学校訪問も順次行っているところである。

(光) 調べる学習コンクールに参加するとのことだが、学校への話はしているか。

→ (平) まだアプローチはしていないので、今後行っていく。